

製品名: インテグリン β 4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12681**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	202kDa

抗原情報

遺伝子名	ITGB4
別名	ITGB4; Integrin beta-4; GP150; CD antigen CD104
遺伝子 ID	3691.0
SwissProt ID	P16144
免疫原	抗血清はヒトインテグリン β 4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1481-1530

背景

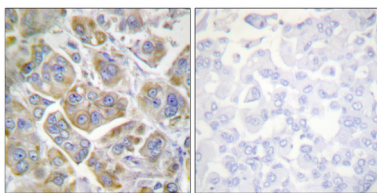
インテグリンは、非共有結合的に会合した膜貫通型糖タンパク質受容体である α サブユニットと β サブユニットからなるヘテロ二量

体です。αポリペプチドとβポリペプチドの様々な組み合わせが、リガンド結合特異性が異なる複合体を形成します。インテグリンは細胞間接着または細胞間接着を媒介し、遺伝子発現と細胞増殖を制御するシグナルを伝達します。この遺伝子は、ラミニンの受容体であるインテグリンβ4サブユニットをコードしています。このサブユニットはα6サブユニットと会合する傾向があり、浸潤癌の生物学的に極めて重要な役割を果たすと考えられます。この遺伝子の変異は、幽門閉鎖を伴う表皮水疱症と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq提供、2008年7月]、疾患：ITGB4遺伝子の欠損は、幽門閉鎖を伴う表皮水疱症（EB-PA）[MIM:226730]の原因となる。EB-PAは、接合型表皮水疱症（PA-JEB）または先天性皮膚無形成症（消化管閉鎖を伴う）としても知られる。EB-PAは常染色体劣性遺伝性で、しばしば致命的な表皮水疱症であり、皮膚、爪、粘膜の病変が多様で、消化器系への影響も様々である。粘膜皮膚の脆弱性、先天性皮膚無形成症、そして特に幽門に影響を及ぼす消化管閉鎖を特徴とする。幽門閉鎖は、表皮水疱症の二次的な癒痕形成過程ではなく、むしろ原発性症状である。疾患：ITGB4の欠陥は、汎発性萎縮性良性表皮水疱症（GABEB）[MIM:226650]の原因である。GABEBは、生涯にわたる皮膚の水疱形成を特徴とする、成人型接合型表皮水疱症であり、毛髪および歯の異常を伴う。ドメイン：フィブロネクチンIII型様ドメインはBPAG1およびプレクチンと結合し、おそらくBP230もリクルートする。機能：インテグリンα6/β4はラミニンの受容体である。上皮細胞のヘミデスモソームにおいて重要な構造的役割を果たします。類似性：インテグリンβ鎖ファミリーに属します。類似性：Calx-βドメインを1つ含みます。類似性：VWFAドメインを1つ含みます。類似性：フィブロネクチンIII型ドメインを4つ含みます。サブユニット：αサブユニットとβサブユニットのヘテロ二量体。β4はα6と会合します。組織特異性：インテグリンα6/β4は主に上皮細胞で発現します。アイソフォームβ4Dは結腸と胎盤でも発現します。アイソフォームβ4Eは表皮、肺、十二指腸、心臓、脾臓、胃でも発現します。、

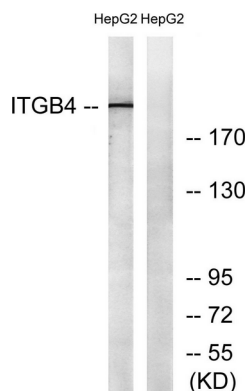
研究分野

焦点接着、ECM受容体相互作用、アクチンと細胞骨格の調節、肥大型心筋症（HCM）、不整脈性右室心筋症（ARVC）、拡張型心筋症。

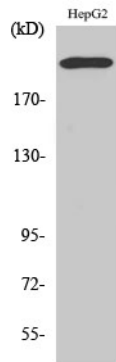
画像データ



インテグリンβ4抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PMA 125 ng/ml 30μl 処理した HepG2 細胞ライセートの、インテグリンβ4抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーン合成ペプチドでブロッキングした。



インテグリン β 4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析